

豪雨被害 岐阜 土砂かき出し早く 生活再建に不安 本村、たけだ、島津氏らが調査

本村伸子衆院議員、たけだ良介参院議員、島津幸広前衆院議員らは、記録的な豪雨で浸水や土砂崩れなど大きな被害があった岐阜県内の各地を回り、現状を調査、住民から要望などを聞きました。

高山市

岐阜県の資料では、住宅の「一部損壊」4棟とありましたが、とても「一部損壊」とは言えない状況がありました。土砂崩れが起きた西之一色町。男性(82)宅は目の前の道が土砂で埋まり自宅も損壊。隣家には倒木などが流入し、近くの事業所は全壊。「倒れた木がドーンと押し寄せた慌てて家を飛び出した。危険なため、今も家に入れず親戚の家に避難している。早く土砂を取り除いてほしい」と要望しました。



高山市

飛騨市

市の担当者から被害状況を聞き、宮川の壊れた護岸ブロックや、土砂崩れで線路が押し流された古川のJR高山線の被害現場へ。JR高山線は複数の区間で復旧のめどが立たず、通学や観光などにも影響が出ています。市の担当者は早期の復旧を求めました。床上浸水の被害を受けた家も訪問し、災害救助法で家屋の応急修理などができることなどを知らせました。

下呂市

家屋の床上・床下浸水、農地などが被害を受けた金山(かなやま)町などを調査。災害廃棄物がグラウンドに積み上がり、深刻さが生まってきます。住民の方々から、災害時の状況、行政の支援が行き届いていない状況や、きめ細かな支援を求める声を聞きました。

関市

津保(つば)川の氾らんなどで1人が死亡し900棟以上が浸水被害をうけました。上之保(かみのほ)地区、武儀(むぎ)地区で調査。上之保地区で、川のすぐ横の自宅が床上1メートル35センチ浸水した三浦延子さん(62)は「今は2階で生活しています。冷蔵庫や電化製品はも



下呂市金山地区



飛騨市 宮川



郡上市

う使えない。これからの再建のことが不安」と話していました。家の外で家財を洗っていた夫婦は「朝から晩まで水を使っている。水道料金を減免して」と要望。「カジノの審議なんかしないで、国からどんと支援をお願いしたい」と訴えました。本村議員、武田議員はその場から、内閣府や厚労省に電話をかけ、水道料金の減免を要望。被災者に災害救助法の支援制度を知らせつつ、「岐阜県にも被災者生活再建支援法の適用や激甚災害指定するよう求めたい」と語りました。

郡上市

市内では道路寸断や家屋浸水など多数の被害が出ています。和良(わら)川の増水で約300メートルにわたって護岸が崩れ、被害を受けた振興事務所や診療所を訪問し、財政支援、遠隔地でもチェックできる水位計の設置箇所を増やすことなどを要望を聞きました。

◆主な調査日程と参加者◆

- 12日 高山市、飛騨市、下呂市
本村伸子衆院議員、高木光弘参院選挙区候補、伊嵩明博飛騨地区委員長、上嶋きよ子高山市議、籠山恵美子前飛騨市議、中島新吾下呂市議
- 13日 関市、郡上市
本村議員、たけだ良介参院議員、島津幸広前衆院議員、たけだ議員秘書、猿渡直樹関市議、野田勝彦郡上市議



関市